



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7213 URL <https://www.lecip.co.jp/hd/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,999	31.5	△211	—	12	—	7	—
2023年3月期第1四半期	2,279	0.0	△648	—	△456	—	△317	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △135百万円 (ー%) 2023年3月期第1四半期 △479百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.58	—
2023年3月期第1四半期	△24.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	14,568	4,484	30.8	331.50
2023年3月期	14,856	4,688	31.6	346.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,484百万円 2023年3月期 4,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	33.3	1,000	—	950	—	450	—	33.26

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	14,178,200株	2023年3月期	14,178,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	651,392株	2023年3月期	651,330株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	13,526,824株	2023年3月期1Q	12,852,694株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことにより、移動需要やインバウンド需要の回復など経済活動の正常化に向けた兆しがみられました。一方、ロシアによるウクライナ軍事侵攻及びそれに伴う資源等の価格高騰、世界的なインフレ、半導体をはじめとした電子部品等の供給不足など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く経営環境においては、主要な取引先であるバス・鉄道業界における輸送量が回復した影響により、設備投資意欲も回復しつつあります。また、材料価格高騰を踏まえたコスト低減、価格交渉等にも鋭意取り組んでおります。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2021年4月よりスタートいたしました長期ビジョン「VISION2030」と長期ビジョンのアクションプランとして策定した中期経営計画「CN2023 (Challenge to the Next stage2023)」の実現に向けた取り組みを進めております。

中期経営計画「CN2023」では、重点課題である①「モノ+コトへの新たな事業展開」、②「MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供」、③「海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり」、④「事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革」、⑤「育成分野への経営資源のスムーズな移行」の5つの課題に向けた取り組みに注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は29億99百万円（前年同期比7億19百万円増、31.5%増）、営業損失は2億11百万円（前年同期は6億48百万円の営業損失）、経常利益は12百万円（前年同期は4億56百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円（前年同期は3億17百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

[輸送機器事業]

当事業の売上高は、19億6百万円（前年同期比5億36百万円増、39.2%増）、営業損失は2億71百万円（前年同期は5億42百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場が11億22百万円（前年同期比3億72百万円増、49.7%増）、鉄道市場が5億45百万円（前年同期比1億47百万円増、36.9%増）、自動車市場が2億37百万円（前年同期比17百万円増、7.8%増）となりました。

バス市場につきましては、輸送量の増加に伴うバス事業者の設備投資意欲の回復傾向を受け、積極的な営業活動を行った結果、ICカードリーダーやカラーLED式行先表示器の売上が増加し、増収となりました。

鉄道市場につきましては、ニューヨーク市地下鉄車両用灯具の納入が進んでおり、増収となりました。

自動車市場につきましては、商用車用LED灯具の売上が増加し、増収となりました。

損益面につきましては、増収により、損失幅が減少しました。

[産業機器事業（エネルギーマネジメントシステム事業）]

当事業の売上高は、10億83百万円（前年同期比1億82百万円増、20.2%増）、営業利益は75百万円（前年同期は93百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が6億89百万円（前年同期比1億38百万円増、25.1%増）、エコ照明・高電圧ソリューション市場が1億57百万円（前年同期比5百万円減、3.1%減）、EMS市場が2億36百万円（前年同期比49百万円増、26.4%増）となりました。

電源ソリューション市場につきましては、物流市場の活況に伴うフォークリフトの安定的な需要により、バッテリー式フォークリフト用充電器の販売が好調に推移したほか、前期より継続的に実施している材料価格の値上がりを踏まえた価格の改定交渉の成果により、増収となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましては、燃焼器具用変圧器などの売上が減少し、減収となりました。

EMS市場につきましては、産業機器向け基板実装売上が増加し、増収となりました。

損益面につきましては、銅・鉄等の主要原材料価格の上昇を踏まえた価格の改定交渉の効果が表れ、黒字化を達成しました。

[その他]

当事業の売上高は9百万円、営業利益は1百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は145億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少いたしました。主な要因は商品及び製品が5億49百万円、原材料及び貯蔵品が5億39百万円、仕掛品が2億37百万円、前渡金が89百万円、未収法人税が82百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が12億51百万円、現金及び預金が5億48百万円減少したこと等によるものです。

負債は100億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億61百万円、前受金が1億91百万円、電子記録債務が1億57百万円、預り金が87百万円増加した一方、短期借入金が3億45百万円、賞与引当金が1億55百万円、未払金が1億53百万円、長期借入金が1億19百万円減少したこと等によるものです。

純資産は44億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4百万円減少いたしました。主な要因は、配当金69百万円の支払いや親会社株主に帰属する四半期純利益7百万円の計上等により利益剰余金が61百万円、為替換算調整勘定が1億59百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の決算短信にて公表しました予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,179,471	2,630,548
受取手形及び売掛金	3,632,500	2,381,249
商品及び製品	1,213,207	1,762,656
仕掛品	612,770	850,124
原材料及び貯蔵品	2,642,259	3,181,474
その他	545,862	751,507
流動資産合計	11,826,072	11,557,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	752,282	737,935
その他(純額)	682,885	667,368
有形固定資産合計	1,435,168	1,405,304
無形固定資産	467,775	438,491
投資その他の資産		
投資有価証券	667,638	689,909
その他	504,933	522,455
貸倒引当金	△45,100	△44,850
投資その他の資産合計	1,127,472	1,167,514
固定資産合計	3,030,416	3,011,310
資産合計	14,856,489	14,568,871
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,367,662	1,629,265
電子記録債務	1,634,081	1,791,542
短期借入金	4,074,400	3,728,580
1年内返済予定の長期借入金	515,564	498,896
未払法人税等	20,289	26,434
賞与引当金	316,890	161,763
製品保証引当金	53,268	58,714
その他	1,124,149	1,272,038
流動負債合計	9,106,306	9,167,234
固定負債		
長期借入金	586,344	467,172
役員報酬BIP信託引当金	80,268	80,268
退職給付に係る負債	35,170	37,410
その他	359,431	332,668
固定負債合計	1,061,214	917,518
負債合計	10,167,520	10,084,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,955	1,190,955
資本剰余金	1,218,003	1,218,003
利益剰余金	2,454,912	2,393,656
自己株式	△281,510	△281,539
株主資本合計	4,582,361	4,521,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,419	210,712
為替換算調整勘定	△87,812	△247,670
その他の包括利益累計額合計	106,606	△36,958
純資産合計	4,688,968	4,484,118
負債純資産合計	14,856,489	14,568,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,279,823	2,999,022
売上原価	1,918,307	2,174,830
売上総利益	361,515	824,191
販売費及び一般管理費	1,009,609	1,035,380
営業損失(△)	△648,094	△211,188
営業外収益		
受取配当金	5,666	6,873
為替差益	189,204	226,942
その他	6,358	3,085
営業外収益合計	201,229	236,901
営業外費用		
支払利息	5,777	6,765
障害者雇用納付金	4,150	3,274
納期遅延損害金	—	2,853
その他	71	59
営業外費用合計	9,998	12,953
経常利益又は経常損失(△)	△456,864	12,759
特別損失		
減損損失	—	6,120
固定資産廃棄損	0	0
特別損失合計	0	6,120
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△456,864	6,638
法人税、住民税及び事業税	16,820	20,802
法人税等調整額	△156,448	△22,047
法人税等合計	△139,627	△1,244
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△317,236	7,883
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△317,236	7,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△317,236	7,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,445	16,293
為替換算調整勘定	△166,399	△159,858
その他の包括利益合計	△161,953	△143,565
四半期包括利益	△479,190	△135,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△479,190	△135,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業 (エネルギーマネジメント システム事業)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,369,188	901,213	2,270,401	9,422	2,279,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,369,188	901,213	2,270,401	9,422	2,279,823
セグメント利益又は 損失(△)	△542,557	△93,000	△635,557	2,111	△633,445

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項) (単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△635,557
「その他」の区分の利益	2,111
全社費用(注)	△14,649
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△648,094

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業 (エネルギーマネジメント システム事業)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,906,031	1,083,659	2,989,690	9,332	2,999,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,906,031	1,083,659	2,989,690	9,332	2,999,022
セグメント利益又は 損失(△)	△271,245	75,537	△195,708	1,852	△193,856

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△195,708
「その他」の区分の利益	1,852
全社費用(注)	△17,332
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△211,188

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、6,120千円の減損損失を計上しております。